

## 令和8年度 小論文課題

次の相談事例①～③の中から1つ選び、どのように相談を進めていくのかを述べてください。

- ① 主訴：わが子の適切な学びの場の選択について（小学校2年生男子）  
全体での指示が通りにくく、個別に声をかけることで何とか活動ができていた状態。授業中には立ち歩きが増えてきた。このまま、通常学級に在籍するのか、それとも支援学級に就学した方がいいのかを悩んでいる保護者に対してどのように相談を進めるか。
- ② 主訴：不登校のわが子との接し方（中学校1年生女子）  
小学校では時々、登校しぶりもあったが、何とか登校できていた。中学校に入学し、最初は問題なく登校できていたが、部活でのトラブルがもとで学校へ登校することが難しい状態に。トラブルについては学校の中ですでに解決しているが、毎日家で過ごすわが子への接し方に困っている保護者に対して、どのように相談を進めるか。
- ③ 主訴：学習面での困り感がある。（小学校3年生男子）  
漢字は出来るが、算数の文章題の問題が解けず、作文も苦手である。特に3年生になってから宿題に取り組むのが難しくなり、厳しく子どもにあたっている保護者に対して、どのように相談を進めるか。

### ※小論文の形式について

- ・用紙はA4版、1枚以内（800字～1200字）1行40～44文字
- ・手書きまたはパソコンで横書き
- ・文字のポイント：10.5ポイント～11ポイント